学校番号	2002

令和８年度　芸術科

教科	芸術科	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	MOUSA 1　（教育芸術社）						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・音楽がどのように形づくられ、そしてそれをどう感じて表すのかについて歴史的背景とともに学習を進めていきます。周りの人とともに音楽を分かち合い、音楽を通して様々なことを学びます。
・様々な音楽にふれ、楽曲そのものだけでなく、その背景となる文化や歴史についても理解を深め、音楽の多様性について理解しつつ広い音楽的視野を身につけていきます。
・実技試験は授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他人の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げて、今後の音楽表現に生かしていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。またそれを表現に生かす力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	歌唱・器楽などの音楽表現において、自己のイメージを持ち、創意工夫できるために必要な知識を取り入れ、技能を身に付けている。 また、鑑賞を通して音楽と社会との関わりや歴史的背景などを学び理解している。	曲想を歌詞の内容や背景と関わらせてイメージし、曲種に応じた発声の特徴を生かすなど、学習した知識・技能を生かし、表現したい自己のイメージを膨らませながら、楽曲にふさわしい音楽表現を創意工夫しようとしている。また、鑑賞から得た知識･技能を生かし、思考・判断して創造的な表現をしようとしている。	主体的・協働的に幅広い活動に取り組み、その中で他者との調和を意識し、創意工夫過程で様々な表現を試している。また、楽曲の曲想や背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもち、演奏したり鑑賞したりする学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表現	**オリエンテーション～イメージをもって歌おう** **「校歌」** **「Lemon」** **「負けないで」** **「若者のすべて」** **日本歌曲を歌おう** **「花」** **「夏の思い出」**	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。【技】姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、表現している。 b:親しみやすいポップスや効果の旋律・リズムを知覚し特質や雰囲気を感受しながら自己のイメージを持って、表現している。 c:音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心を持ち、主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	ワークシート 確認テスト	レポート 実技テスト	観察 振返りシート
		ドイツ語に挑戦！ **「野ばら」** **F. シューベルト** **英語のライムを感じて** **「美女と野獣」**	a:【知】言葉の特性と曲種に応じた発生との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。【技】曲にふさわしい発声・発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現している。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、自己のイメージ、思いや意図を持っている。 c:言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート 確認テスト	レポート 実技テスト	観察 振返りシート
		ボディパーカッションを楽しもう！ **「Plymouth Rock」**	a:様々な表現形態による特徴について理解している b:知覚・感受したこととの関わりを思い・意図をもって表現している。 c: 身体の様々な部位を使って、	ワークシート 確認テスト	レポート 実技テスト	振返りシート

			表したイメージをもって、主体的・協働的に取り組もうとしている。			
	鑑賞	音楽の要素とイメージをつなげよう 組曲≪動物の謝肉祭≫サン＝サーンス	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の要素の働きについて理解している。 b:知覚・感受したこととともに音楽の意味や価値、音楽の美しさを味わって聴いている。 c:それぞれの動物を表す音楽の要素に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 確認テスト	レポート	観察
2学期	表現	三線の音色を楽しもう 「海の声」	a:楽器の歴史や構造を理解し、「工工四」の読譜や奏法を身に付けている。 b:和楽器独特の響きや特有の音階などの特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、自己のイメージを持ち、意図して表現している。 c:学習することに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 確認テスト	実技テスト レポート	観察 振返りシート
	鑑賞	様々な主題とその構成を聞き取ろう 「交響曲第9番ニ短調op.125≪合唱付き」から第4楽章」 ベートーヴェン 古の音楽に思いをはせよう 「越天楽」	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 b:音楽の構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら音楽の良さや美しさを自ら味わって聞いている。 c:主題の変化や作品の特徴が音楽の構造とどのように関わっているかに関心を持ち、主体的・共働的に学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 確認テスト	レポート	観察

3学期	表現・鑑賞	コンサートを開こう ～音楽Ⅰのまとめとして	a:音楽Ⅰの一年間の学習を通して、表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。また、技能に関する諸事項を身に付け、歌唱や器楽、創作で表している。 b:音楽Ⅰで学んだ教材の音楽の諸事項を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、自己のイメージを持って歌唱や器楽、創作表現としてどのように表すかについて、思いや意図を持っている。 c:1年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、学習を経て、自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・共働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート （企画書）	実技テスト レポート	振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度